



福井市越廼小学校

越廼っ子だより

2023年12月号

2023年12月21日(木)発行



目指す児童像 ・やさしく ・かしこく ・たくましく

TEL:89-2043 FAX:89-2184

HP:http://www.fukui-city.ed.jp/koshino-e

↑本校HPのQRコード

☆学びフェスタが行われました。 参観ありがとうございました！ 12月16日(土)

これまでの学習の成果を発表する学びフェスタが12月16日(土)に行われました。子ども達は、当日までに発表内容を考えたり、より良く伝えるためにどんな工夫をしたらよいか考えたり、また練習しては円陣を組み振り返りをしたりと一人ひとりが向上心とやる気を持って練習に取り組むことができました。おかげさまで当日は全員参加で、保護者の皆さまにこれまでの成果を見ていただくことができました。ありがとうございました。

○2年生 「きらきら かつこい 2年生」



国語で学習した「お手紙」の音読劇と音楽で学習した「アイアイ」の合奏を発表しました。道具や楽器の準備も自分達で行い、音読劇では、はきはきと元気よく、合奏ではリズムに合わせてきれいに演奏ができました。練習では6人でリズムを合わせるのに苦労しましたが、本番はばっちり合わせる事ができました。

○3・4年生 「ふるさとの魅力をお届け！～こしのつこTV～」



これまで制作してきた越廼の魅力を発信するCMは、越廼公民館のまつりで発表してきましたが、今回はその制作の裏側を劇も交えながら紹介しました。CM制作にあたり研修会に参加したり、絵コンテを元にシナリオを考えたり、見る人の心を引きつけるキャッチコピーのコツを学んで制作したりと、これまでに様々な工夫をしてきました。越廼の魅力とともにCM制作の裏側もしっかり伝えられましたよ。

○5・6年生 「先人からのおくりもの ～やさしく・かしこく・たくましく～」



5・6年生は、来年度お礼が変わることを劇とクイズで紹介しました。劇の内容やスクリーンに映し出された画像などは自分達で制作したものです。どのようにしたら低学年の子にも分かりやすく伝えられるのか、シナリオはこれでいいのか何度も何度も見直しをして仕上げていきました。笑いありまじめな学習ありで多学年にも保護者の方々にも好評でした。さすが学校のリーダーである最高学年の発表でした。本校では、今後子ども達が主体的に活動し成長し続ける様子を参観していただく機会を設けてまいります。

いよいよ、2023年も終わりに近づきます。今年も大変お世話になりました。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。



☆校内器械運動発表会を行いました。12月8日(金)

体育の学習で練習し、新しくできるようになった技を披露する器械運動発表会を行いました。3年生以上の児童一人ひとりが見てほしいポイントを発表した後、技を披露。これまで一生懸命練習してきた技が決まると大きな拍手が沸き起こりました。互いの努力の様子を目の当たりにしているだけあって、演技終了後の感想発表時には、自分のことだけでなく友達の頑張りをたたえるものもあり、心温まる発表会となりました。



☆第2回家庭・地域・学校協議会を開催しました。12月16日(土)

家庭、地域、学校が連携し地域の特性を生かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを目指す家庭・地域・学校協議会を開催しました。校長から今年度秋からの教育活動や今後の活動、課題等についての説明があり、委員の皆さまからは今後の活動へのご質問やご助言をいただきました。これらのご助言をもとに今後も家庭、地域の皆さまのご理解ご協力をいただきながら、教職員一丸となり地域に根ざした学校づくりを進めてまいります



☆講師の方々と共に学ぶ機会を設けています。

本校では、様々な職種の講師の方をお呼びして、ご指導いただくとともに触れあう機会を設けています。今月は下記のような2つの活動を行いました。



★避難訓練(津波)と防災教室 12月1日(金)

本校の避難訓練は、①地震・火事、②土砂崩れ・引き渡し訓練、③地震・津波と年3回実施しています。今月は、地震後に大津波警報が発令されたとの設定で避難訓練を行いました。その後は、日本赤十字社福井県支部赤十字幼児安全法指導員の山田様を講師にお迎えし、防災教室を行いました。山田様には、普段からリュックなどの非常持ち出し袋



を準備しておくこと、持ち出し袋には必要なものを考えて入れておくこと等を教えていただき、代表児童が実際に持ち出し袋に必要なものを考えて入れてみました。また、避難所で過ごす際の新聞紙スリッパの作り方を教えていただきました。簡単にそして意外にあたたかい新聞紙スリッパができ、新聞紙は敷物になったり防寒用具として使用できたり便利な物だともわかりました。ご家庭でも、持ち出し袋のご準備、避難場所等、お子様とお話しいただきますと幸いです。



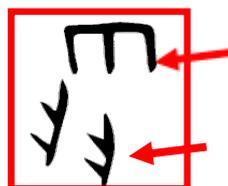
★「雪の結晶観察」教室 12月7日(木)

NPO ふくい科学学園の香川喜一郎先生をお迎えして「雪の結晶観察」教室を開催しました。おり紙でいろいろな形の雪の結晶を作ったり、雪のレプリカを手作り顕微鏡や簡易ルーペ顕微鏡で観察したりしました。雪の結晶は基本六角形で、そこからそれぞれに枝が伸びてとてもきれいでした。そしてお手伝いの大学生さん達が作った人工雪を観察し、一人ひとりが持っているタブレットで撮影しました。照明を受けてきらきら光る美しい形の結晶達。しっかりタブレットに収まっています。越廼地区にも雪は降りますが、これからは児童の雪の見方もきっと変わってくることを期待しています。

この教室は、海の上茶屋「よねや」様、地域の皆さまのご協力により開催することができました。貴重な機会をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。



「今月の漢字」「雪」の成り立ちを紹介します。



雨や水に関する形

羽の形

空から、雪がまいおちる形です。雨や水にかんけいする 雨 の下に、羽の古代文字 彗 が見えます。古代の人たちは、まいおちる雪が、羽の形のように見えたのかもしれないね。

参考『白川静博士の漢字の世界へ』(平凡社)より